

心に残る文化財子供塾 活動の概要と様子

—奥出雲町立阿井小学校—

1. 概要

7月13日（木）、奥出雲町立阿井小学校で『心に残る文化財子供塾』を開催しました。

はじめに遺跡や文化財が身近なものであることを知るために、町内に旧石器時代から古墳時代までたくさんの遺跡や出土品があることをスライドで紹介し、さらに実物を手に取って観察することで興味を深めました。学校周辺にも古墳があることを知り驚いた様子でした。

後半は、鏡づくりを体験しました。一人一人が鋳込みから鏡面磨きまでを行いました。溶かした金属を鋳型に流し込む時は、タイミングをはかりながら緊張した様子でしたが、鋳型をはずし現れた鏡にホッと、歓声もあがりました。鏡面を磨く作業には悪戦苦闘しましたが、最後まで粘り強く続けてくれました。

学習と体験を通じて、地域の遺跡についてもっと知りたいと、関心を持ってくれた様子でした。

2. 様子

① 奥出雲町内の遺跡について理解を深める



② 古代体験活動 鏡の鋳込みに挑戦



3. 子ども塾を終えて

① 児童の皆さんから

- ・奥出雲町から見つかった土器やネックレス見たり触れたりしたことが印象に残った。
- ・昔の人が実際にどんな鏡を使っていたか知ることができた。
- ・阿井にある古墳に行ってみたいと思った。
- ・奥出雲の遺跡をもっと詳しく調べてみたい。
- ・なぜ、奥出雲に昔のものがたくさんあるのか知りたい。他の所にもたくさん昔の物がたくさんあるか知りたい。

② 担任の先生から

- ・奥出雲地域の遺跡等を紹介していただき、子供たちは興味津々でした。
- ・その地域に合わせていただくことは、とても有効だと思います。
- ・子供たちも楽しく学んでおり、とても有意義な時間でした。

③ 埋文センターから

- ・町内には多くの遺跡があり、学校の近くにも古墳があることを学習して、遺跡や文化財が身近なものとなったことで、より興味を持てるようになったと思います。出土品を初めて手に取り観察したことで、もっといろいろなものを見てみたいと好奇心が高まったと感じました。